

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年12月



新田せろ子株式会社



1. 2024年3月期 第2四半期 実績
2. 2024年3月期 業績予想
3. トピックス

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

会社名	新田ゼラチン株式会社 (Nitta Gelatin Inc.)
代表者	代表取締役社長 尾形 浩一 (おがた こういち)
本店	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年(大正7年)1月
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 4977)
資本金	3,144百万円
連結売上高	391億円(2023年3月期)
連結従業員数	1,023名(2023年3月末)

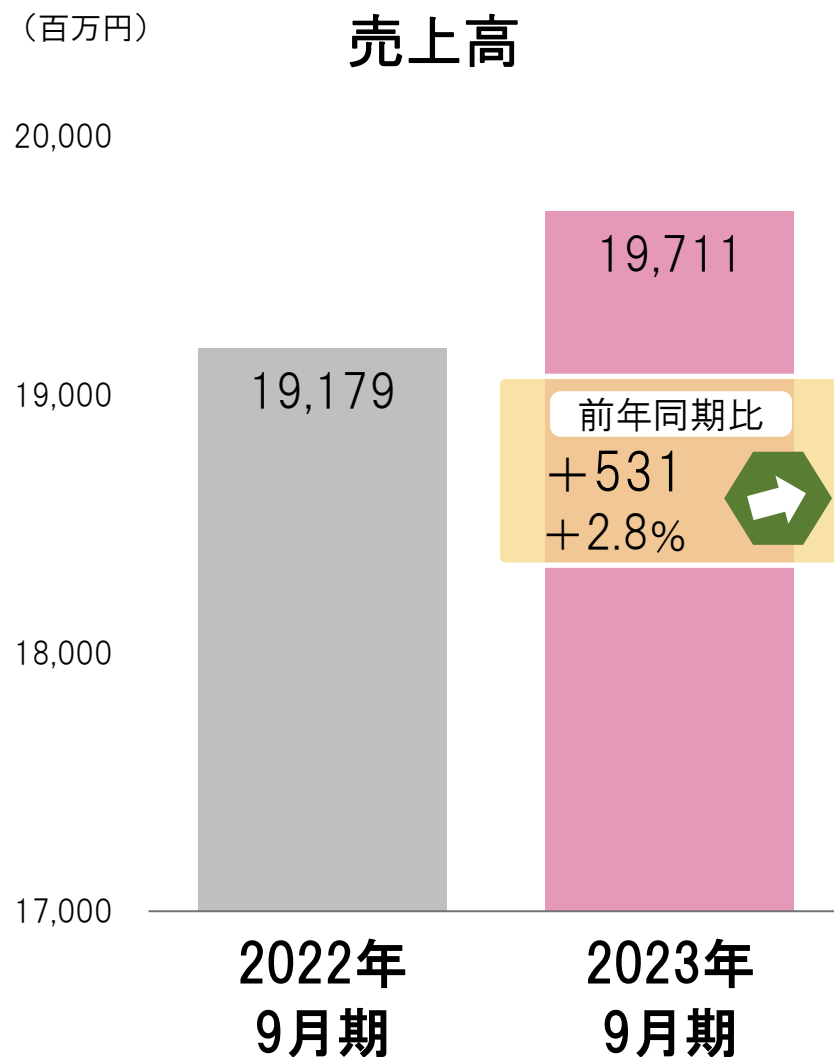
1. 2024年3月期 第2四半期 実績

業績推移 ①: 売上高

売上高 **19,711**百万円

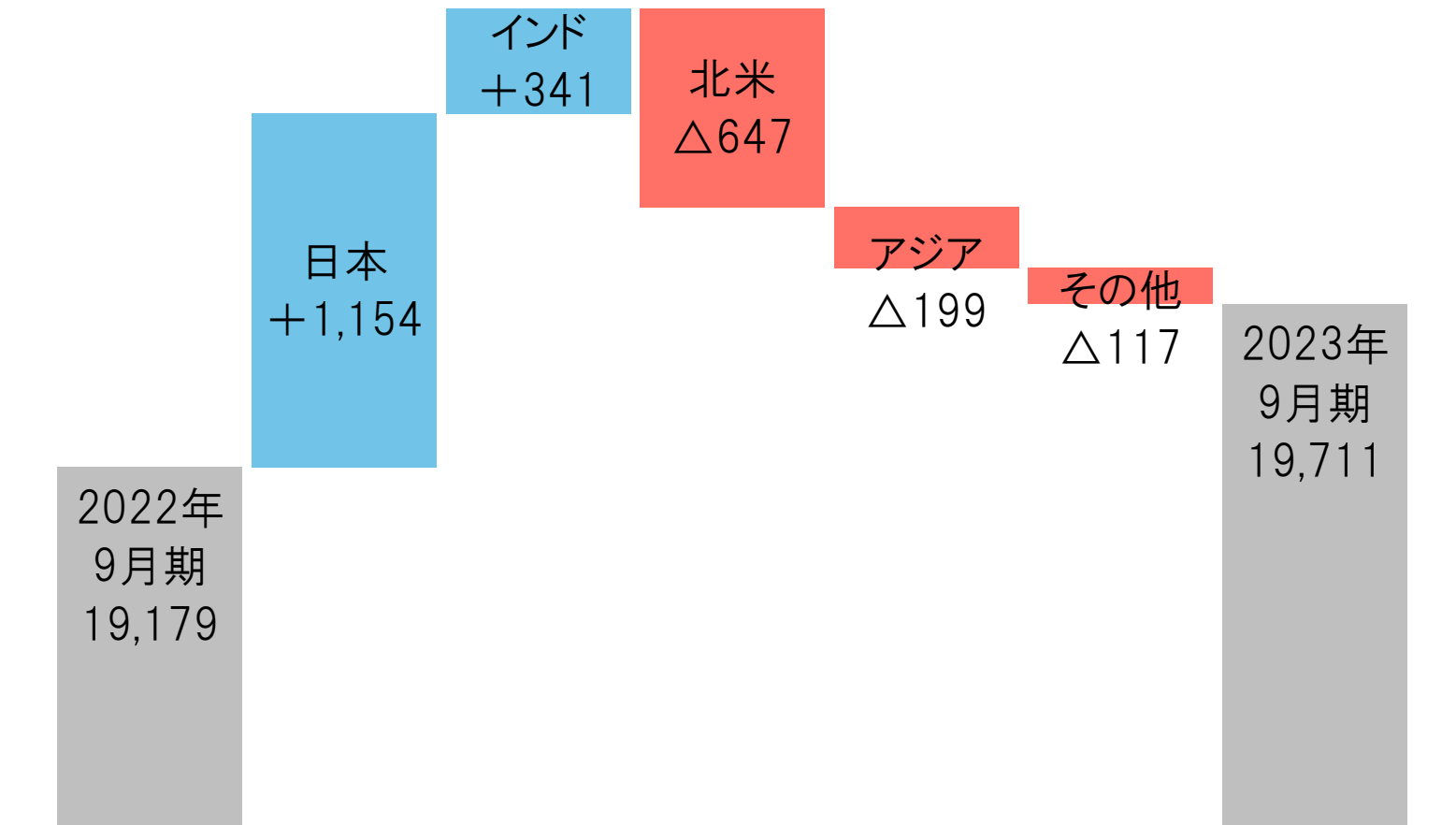
前年同期比 **+ 531**百万円
+ 2.8%

- フードソリューション及びヘルスサポートは価格改定により売上伸長
- 円安による海外売上増加
- スペシャルティーズは副産物の市況価格低下により売上減少



連結売上高増減要因(地域別・前年同期比)

(百万円)



業績推移 ②: 営業利益

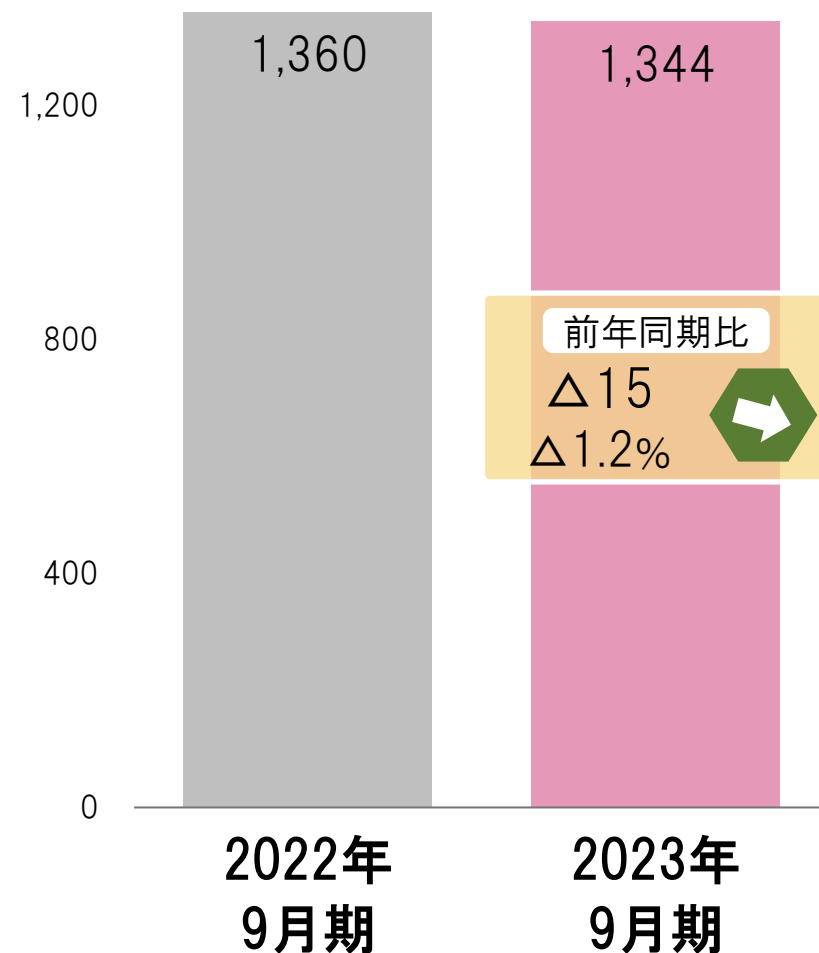
営業利益 **1,344**百万円

前年同期比 $\Delta 15$ 百万円

$\Delta 1.2\%$

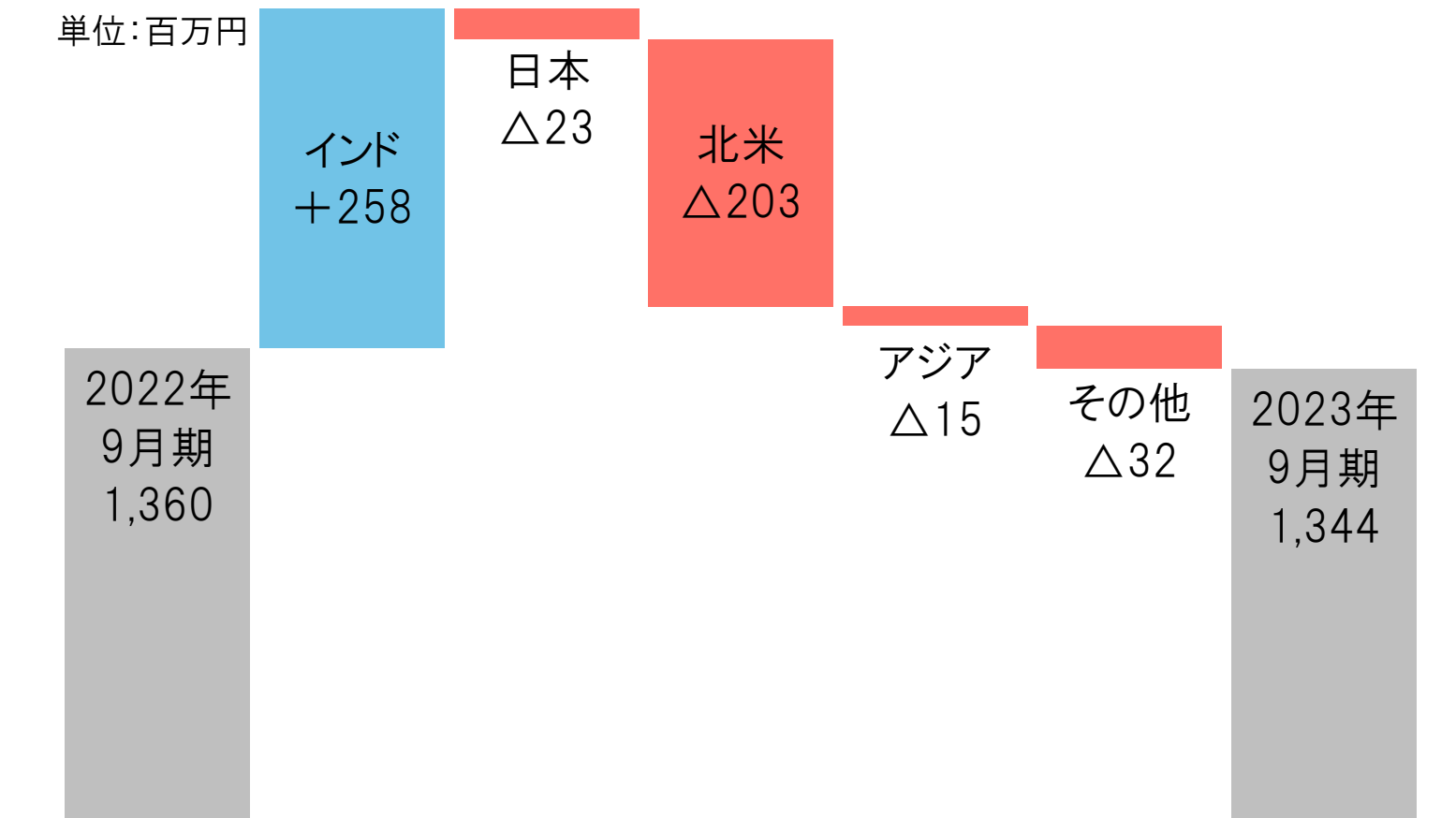
- 原材料、ユーティリティコストの上昇により製造原価が増加
- 販管費は、北米で増加したものの、グループ全体では減少

(百万円)



連結営業利益増減要因(前年同期比)

単位:百万円



業績推移 ③: 経常利益

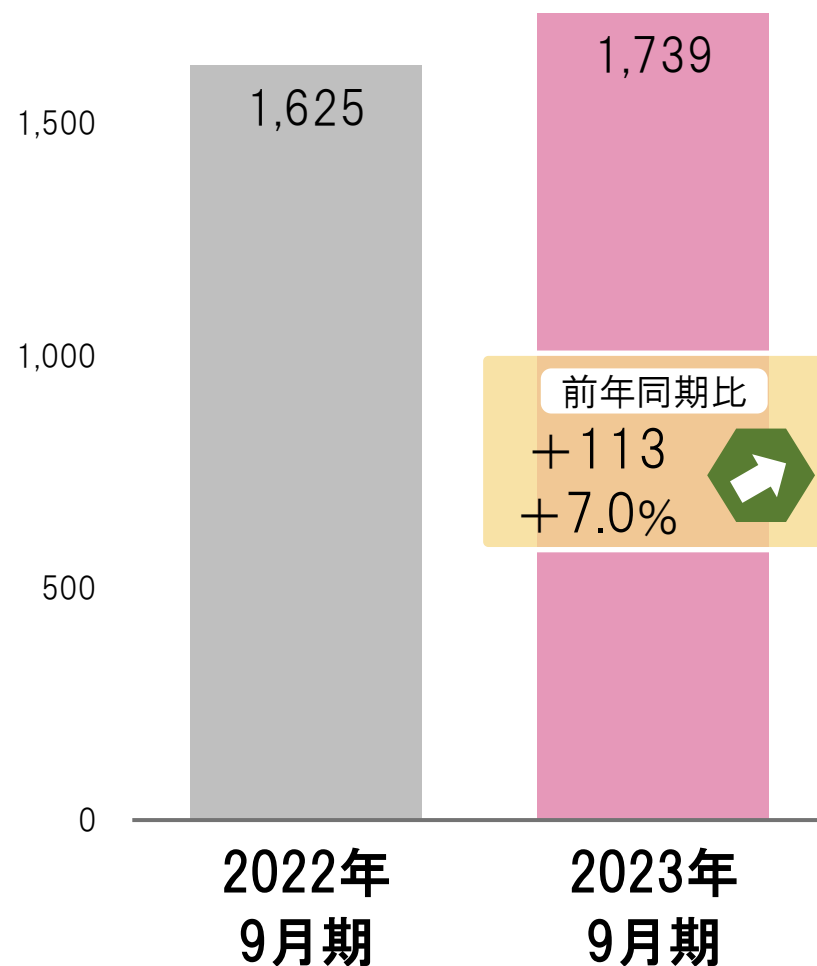
経常利益 **1,739**百万円

前年同期比 **+113**百万円
+7.0%

前年同期比

- 営業外収益増加 +138百万円
(うち為替差益増加 +120百万円)
- 営業外費用増加 +9百万円

(百万円)



業績推移 ④：親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 **690**百万円

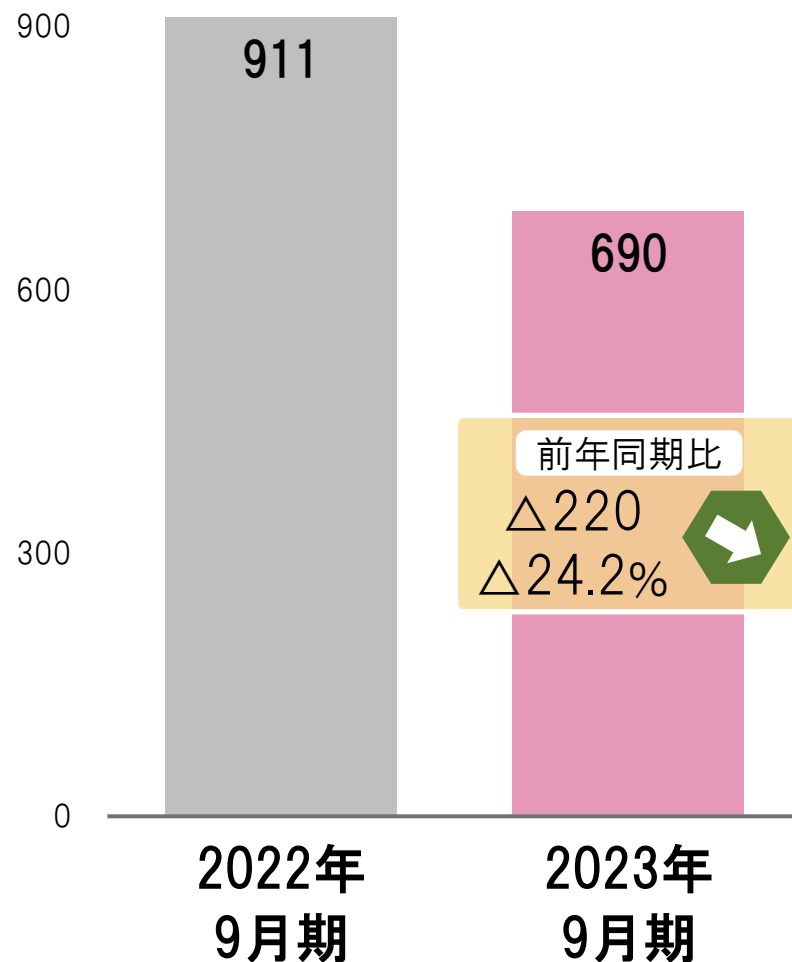
前年同期比 $\Delta 220$ 百万円

$\Delta 24.2\%$

前年同期比

- 特別損益 $\Delta 17$ 百万円
- 法人税等 $+143$ 百万円
- 非支配株主持分 $+173$ 百万円
(マイナス要因)

(百万円)



販売区分



- 食用(常温)
- 食用(チルド)
- 食用(冷凍)
- 食用(その他)



- 健康
- 美容
- 栄養
- 再生医療
[バイオメディカル]



- 写真用・工業用
- 副産物(その他)

販売区分別 売上高

(百万円)	2022年 9月期	2023年 9月期	増減
フードソリューション	7,539	7,885	+4.6%
ヘルスサポート	9,098	9,436	+3.7%
スペシャリティーズ	2,542	2,389	△6.0%
合 計	19,179	19,711	+2.8%

フードソリューション

売上高 **7,885**万円

前年同期比 **+345**百万円
+4.6%

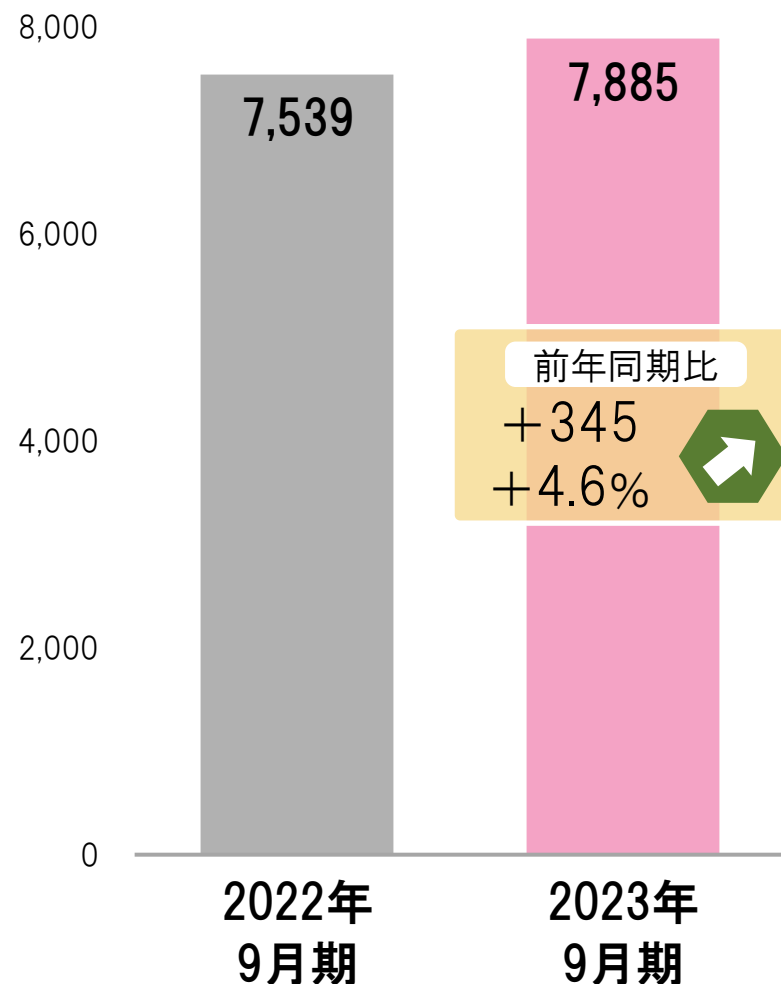
日本

- ゴミ用ゼラチンは価格改定効果で売上増加
- スープ・調味料、業務用小分け品の売上増加
- コンビニ向け総菜用、デザート用の売上増加

北米

- ゴミ用以外の一般食品向け売上減少

(百万円)



ヘルスサポート

売上高 **9,436**百万円

前年同期比 **+338**百万円
+3.7%

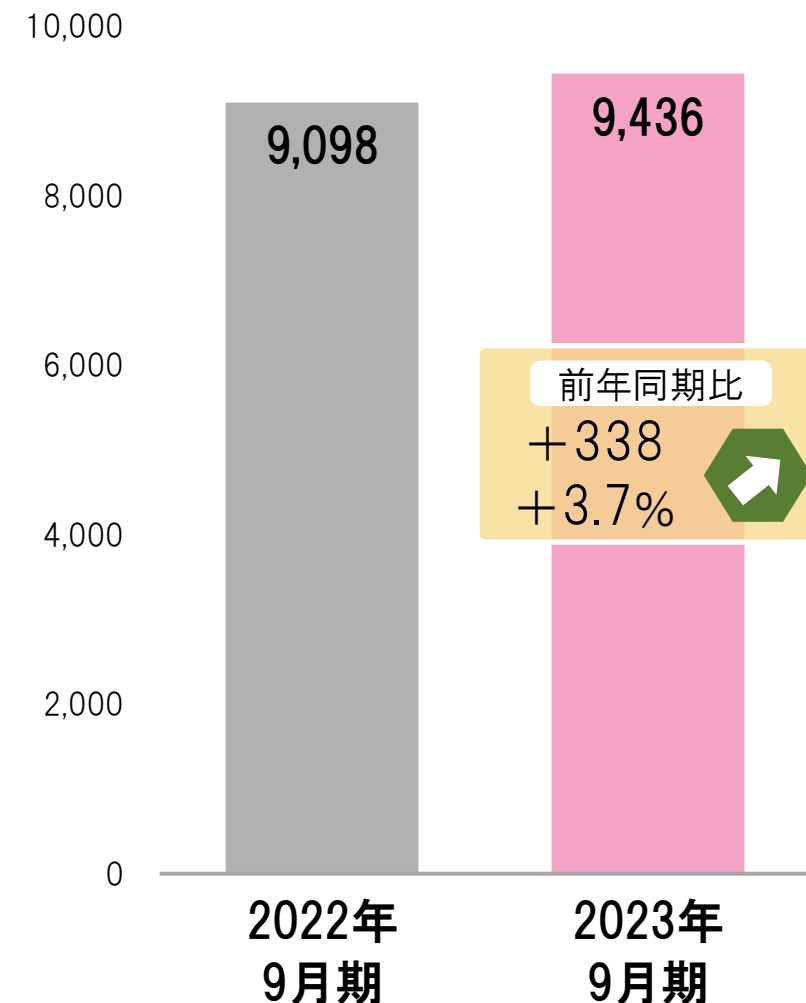
日本

- カプセル用ゼラチンは販売伸長と価格改定効果で売上増加
- 美容用CPtの売上は減少
- 健康食品の直販は売上増加

海外

- 北米、インドでカプセル用ゼラチンが売上増加
- 北米、アジアのCPtは売上減少

(百万円)



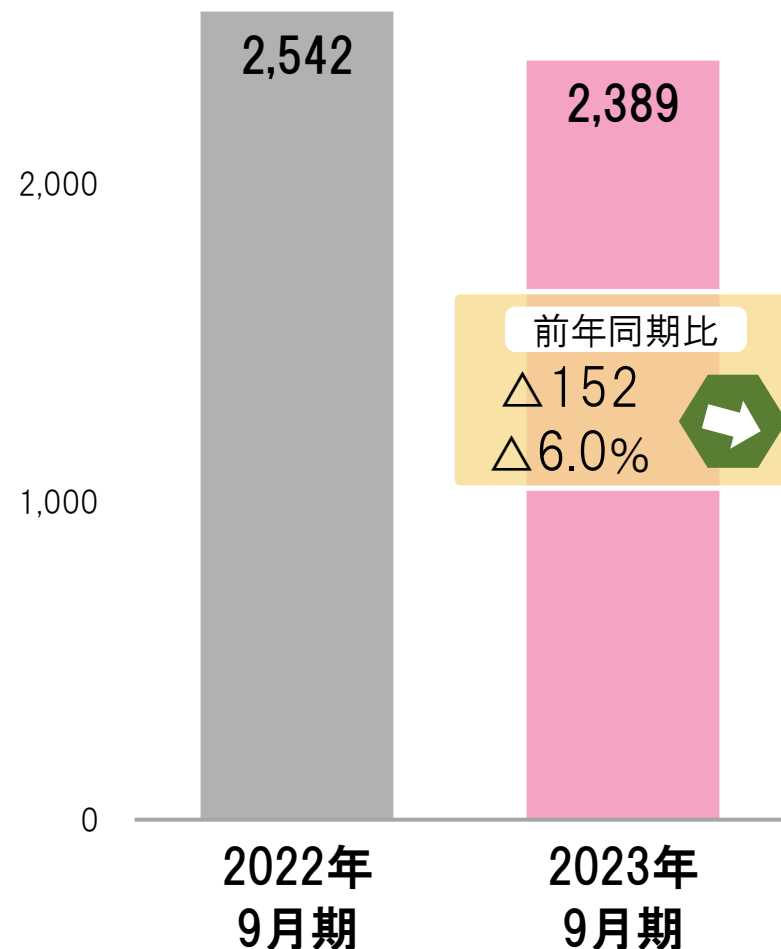
スペシャリティーズ

売上高 **2,389**百万円

前年同期比 **△152**百万円
△6.0%

- 写真用ゼラチンの売上増加
- 飼料・肥料向け副産物の売上減少

(百万円)



貸借対照表 (B/S) ①資産の部

(百万円)	2023年 3月末	2023年 9月末	増減
流動資産	25,376	26,905	+1,529
現金・預金	2,856	2,659	△197
受取手形・売掛金	8,741	8,503	△238
たな卸資産	12,983	14,845	+1,862
その他流動資産	794	897	+102
固定資産	16,238	16,545	+306
有形固定資産	11,119	11,362	+243
無形固定資産	504	498	△5
投資有価証券等	4,614	4,683	+69
資産合計	41,614	43,450	+1,835

- たな卸資産増加
サプライチェーン混乱に対応するための在庫積み増しが影響
- 有形固定資産増加
生産設備の安定化・効率化、環境保全対応など

貸借対照表 (B/S) ②負債・純資産の部

(百万円)	2023年 3月末	2023年 9月末	増減
流動負債	12,711	11,944	△766
支払手形・買掛金	2,818	3,550	+732
短期借入金等	5,989	5,428	△560
その他流動負債	3,902	2,964	△938
固定負債	6,646	7,099	+452
長期借入金	4,118	4,592	+474
退職給付に係る負債	1,586	1,607	+21
その他固定負債	942	899	△43
負債合計	19,358	19,044	△314
株主資本	17,434	17,985	+550
その他包括利益累計額合計	1,662	2,589	+927
非支配株主持分	3,159	3,831	+672
純資産合計	22,256	24,406	+2,150
負債・純資産合計	41,614	43,450	+1,835

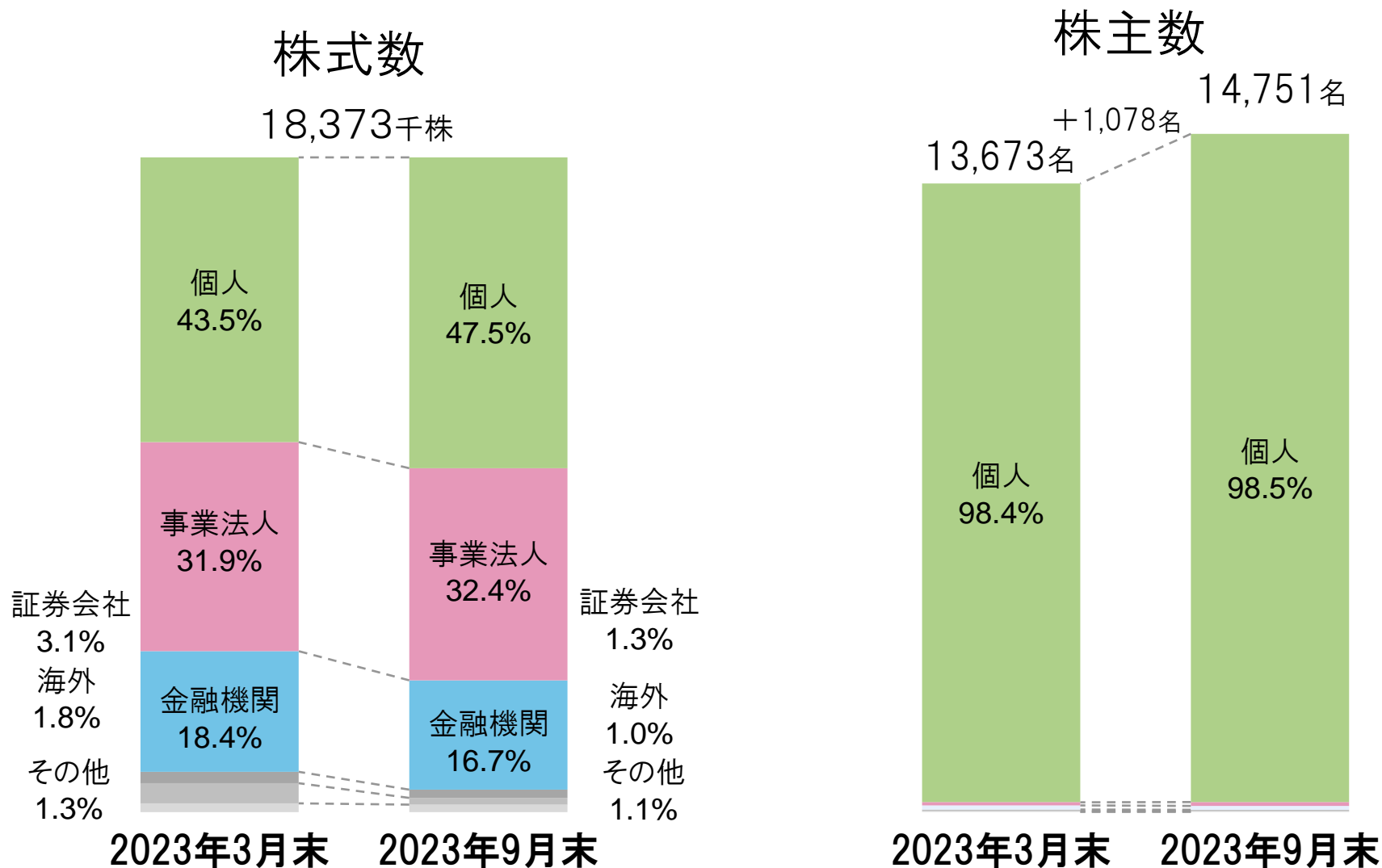
- 買掛金増加
たな卸資産増加の影響
- その他流動負債減少
未払金などが減少
- 固定負債増加
長期借入金が増加
- 株主資本増加
利益剰余金が増加
- その他の包括利益累計額増加
為替換算調整勘定が増加

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

- 営業CF：税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少
- 投資CF：有形固定資産の取得による支出
- 財務CF：短期借入金の純減

(百万円)	2023/3 2Q	2024/3 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	490	1,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,678	△1,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	211	△656
現金及び現金同等品の増減額	△897	△227
現金及び現金同等品の期末残高	2,113	2,619

株式分布変化



株主還元

<配当金>

2024年3月期	中間配当金	8円
	期末配当金	8円(予定)
	合計	16円(予定)

<株主優待制度>

所有株式数	保有期間	贈呈内容	
100株以上 500株未満	3年未満	当社商品 (健康食品など)	1,000円相当
	3年以上		2,000円相当
500株以上	3年未満		3,000円相当
	3年以上		6,000円相当

3年以上保有とは： 当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上連続して記載または記録され、1単元(100株)以上保有

2. 2024年3月期 業績予想

外部環境の認識 **日本**

- コロナ禍での制限緩和による、飲食などのサービス分野のリバウンド需要が回復
- 訪日外国人増加によるインバウンド需要が回復
- グミ、コンビニ向けデザート需要増加
- コロナ禍以降の世界的なインフレや円安による人件費、原材料費及びエネルギー価格の上昇

外部環境の認識 **海外**

- 外食、旅行、娯楽などのサービス分野の需要回復
- ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う穀物価格、人件費及びエネルギー価格の上昇

北米、アジア

- 第2四半期までの市況は全般的に堅調
- 今後はインフレ影響による需要減退と、価格競争の激化を見込む

今後の事業戦略

コア領域	事業エリア	事業戦略
フードソリューション	日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に需要が旺盛なグミキャンディ市場に向けた安定供給体制の確立 様々なニーズに対応する迅速な技術開発
ヘルスサポート	日本	<ul style="list-style-type: none"> 一般消費者向け商品の認知度向上のための広告宣伝継続 注力顧客企業とのタイアップによる商品開発
	北米 アジア	<ul style="list-style-type: none"> 「Wellnex(ウェルネックス)ブランド」の認知度拡大による競合品との差別化戦略推進 コラーゲンペプチドの新規用途開拓に向けた市場調査、提案活動の実施
バイオメディカル	日本 アジア	<ul style="list-style-type: none"> 新研究開発・製造棟「みらい館」を活用した生産力、競争力と品質強化 営業力を強化し、グローバルで販売拡大

2. 2024年3月期 業績予想

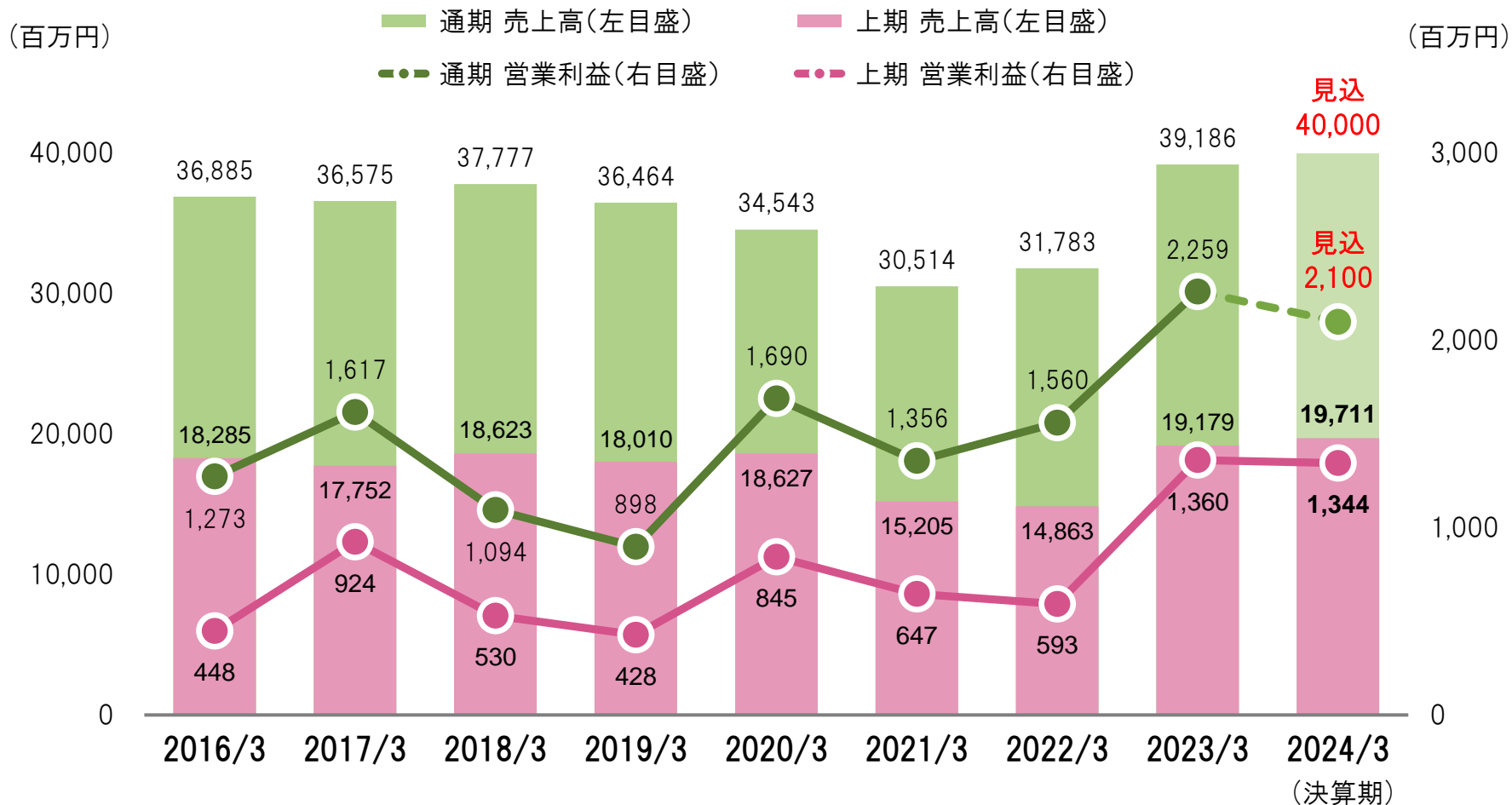
為替の影響や世界経済の先行きの見通しが不透明なことから
前回(2023/5/12)公表値を据え置く

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
売上高		39,186	40,000	+2.1%
営業利益		2,259	2,100	△7.1%
	利益率	5.8%	5.2%	△0.6%
経常利益		2,248	2,100	△6.6%
	利益率	5.7%	5.2%	△0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,558	1,200	△23.0%
	利益率	3.9%	3.0%	△0.9%

業績予想の考え方

プラス要因	<ul style="list-style-type: none">• 日本国内のゴミ、コンビニ向けデザート需要の拡大、外食、インバウンド需要の回復• カプセル用ゼラチンを中心としたインドでの堅調な需要推移
マイナス要因	<ul style="list-style-type: none">• 北米・アジアの需要減退と価格競争の激化• 為替変動(円安の進行) ⇒海外子会社の換算レートはプラスに寄与も、国内の輸入原材料コストは上昇し利益面ではマイナス• 世界的な穀物価格、エネルギー価格、人件費等の高騰• 北米工場の安定稼働には一定の時間必要

連結 売上高、営業利益 実績・見込み推移



3. トピックス

「のせる生ジャムミックス」新発売

2023年7月20日

簡単に手作りジャムを作ることができ、果物を無駄なく使い**フードロスにも貢献**



ランショット共同開発

城西大学男子駅伝部 上位入賞



RUNSHOT

第35回出雲駅伝 3位表彰台

第55回全日本大学駅伝 5位入賞



出雲駅伝 出場選手の皆さん



3区 区間賞
Victor Kimutai 選手



4区 区間賞
齋藤 将也 選手

コラーゲンペプチドシンポジウム開催

2023年7月3日

「スポーツニュートリションへの挑戦
～すべてのアスリートを支えるコラーゲンペプチド～」



ヘルスサポート事業部
山川 友一

ランショットアンバサダー
秋葉 直人氏 坂本 直子氏



花園近鉄ライナーズ
管理栄養士
成田 厚子氏



パーソナルトレーナー協会
理事
山本 義徳氏

ライフサイエンスバイオマテリアル研究会開催

2023年10月30日

医療機器・製薬関連企業、大学、公的研究機関の研究者を中心に88名が参加



4年ぶりのリアル開催(ホテルグランヴィア京都)



京都大学 医生物学研究所
生体材料学分野
教授 **田畑 泰彦**
(当研究会 座長)



東京大学 医科学研究所
再生医学分野
准教授 **谷水 直樹**



株式会社 サイフューズ
代表取締役 **秋枝 静香**



株式会社 ビジョンケア
代表取締役社長 **高橋 政代**

ご覧いただきありがとうございました



新田せりちょう株式会社